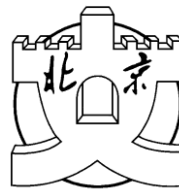


かささぎ



北京日本人学校
学校通信 第8号
令和2年12月24日
校長 栗本 和明

2学期を振り返る

～次の教育活動に生かし新たな教育活動を創造するために～

校長 栗本 和明

全学年の登校がなかった2学期でした。10月中旬までは北京に残った教師20人体制での教育活動の継続、そして日本から今年度赴任者8人が到着し、本来の28人体制が整いました。

2学期の終わりにあたり、「成果や課題」を振り返りたいと思います。苦しかった時期の記録を共有し、新たな挑戦を書き記すことで、今後の本校の教育活動をより良くし、新しい教育活動を創造するための道筋が明確になると考えたからです。

1 授業時間数確保

- (1) オンライン授業で扱った教育内容について、子供たち一人一人がしっかりと身に付けられるよう、また「実技を伴う教科」の学習活動を充実させるため、授業時間数を確保しようと、様々工夫しました。
○隔週土曜日「回復開校」実施。 ○国慶節休み短縮。 ○夏季休業及び冬季休業の短縮。
- (2) 授業時間数確保に伴い「特色ある教育活動」について見合わせ・縮小・見直しを行いました。
○外国語学習：中国語会話 2学期実施を見合わせ。
○たてわり班活動の見直し。

2 実施できなかった活動

- (1) 全校行事「運動会」：5月実施を計画していましたが開校がかなわず実施できませんでした。
- (2) 全校行事「遠足」：教育委員会の指導（防疫体制の確立）により、実施できませんでした。
- (3) 小5宿泊学習、小6修学旅行、中2修学旅行：教育委員会の指導（北京市外へ出ることは「不可」。防疫体制の確立など）により実施できませんでした。
- (4) 校外学習
例年1学期などに行っていた各学年の校外学習について、開校がかなわず学習の時機を逸したため中止したり教育委員会の指導（防疫体制の確立）により実施できなかつたりしました。
小1：生活科 学校の周りまち探検
小2：生活科 学校近くの施設やお店調べ イタリア農園
小3：社会科 学校周辺の地図づくり 潤田農園
小4：社会科 自來水上水道博物館 天文科学館
小5：社会科 スイカ博物館
- (5) 国際交流活動
教育委員会の指導（防疫体制の確立）等により実施できませんでした。
小1：3e国際幼稚園 小1・2：国際ドッジボール大会、君誠国際学校
小3・4：海淀国際実験学校 小5：天津瑞景小学校（宿泊学習中止による）
小5・6：韓国国際学校 中2：少林寺武術学校（修学旅行中止による）

3 新しい活動 ～新たな教育活動の創造～

- (1) 「新」全校行事「たてわり班オリエンテーリング」
遠足にかわる新しい全校行事。たてわり班で校内を巡り、様々な課題に立ち向かったりゲームを楽しんだりしました。
- (2) オンラインによる「新しい学習」への挑戦
○小3社会科「スーパーマーケットの仕事」：校外学習が実施できなかったためオンラインによるイオン店内見学とインタビューを実施しました。
○中3技術・家庭科家庭分野「保育実習」：防疫体制確保を理由に教育委員会に認められなかったため、オンラインによる実習を行いました。
○小3総合「ANA航空教室」：パイロットやキャビンアテンダント、整備士の方などが来校できないため、オンラインによる学習を計画しています。

(3) 校外学習 ～新たな学習の場の創出～

- 小3 社会科「工場の仕事」：ユニクロの靴下を製造する工場に行きました。広大な敷地にズラリと並ぶ自動織機や、人の手で丁寧に検品する様子を間近に見ることができました。
- 小5 社会科「工業生産」：パナソニック（松下）の電気製品製造工場と第一三共の製薬工場に行きました。大迫力の金属プレス作業や北京で最も清潔な製薬過程の1つを見ることができました。
- 小6 総合：798芸術区へ徒歩で行きました。事前に計画を練り、グループ活動で様々なギャラリーに入ったり、芸術作品にふれたりしました。レストランで昼食をとりました。
- 中2 技術・家庭科家庭分野：日本料理店「なだ万」に行きました。学校での調理実習ができない状況ですが、プロの料理人から日本料理文化についてのお話を伺ったり、すご技の包丁さばきを実演していただいたりしました。
- 小6 総合：3学期CANONでの校外学習を予定しています。最新のオフィスの様子や働く人たちの様子を見たり、SDGsの取り組みについて学んだりする予定です。
- 中1 総合：3学期ANAのオフィスでの校外学習を予定しています。安全で快適な飛行機の運航に多くの人が工夫し努力している様子を学ぶ予定です。
- 小3・4 社会科「まちの安全を守る」：北京市の消防署での校外学習実現に向け、折衝等を行っています。あわせて、北京市の交通警察や保安警察の人の話を聞く学習ができないか、関係機関と連絡を始めました。
- 中学部美術：学校近隣の美術館での「鑑賞」の学習の実現に向け、準備を始めました。

(4) 特別授業 ～新たなチャレンジ～

- 中1～中3 理科「HITACHIによる電子顕微鏡の特別授業」：電子顕微鏡を実際に操作する授業を行いました。日本の専門家とオンラインで結んで授業を進めました。

(5) 文化体験学習：一昨年度京劇（主に鑑賞）、昨年度中国楽器の演奏（主に鑑賞）、から一歩進み、体験活動を多く（全員が体験に取り組む。体験の時間をしっかり確保する）取り入れた学習を行いました。小学部は少林拳の演武鑑賞と体験、中学部は太極拳の演武鑑賞と体験。

(6) 入学式に代わる取り組み

- 小学部1年「小学部1年生入学お祝い集会」：12月12日（土）保護者の参観のもとで入学式に代わる入学お祝い集会を行いました。
- 中学部1年：3学期に「中学部1年生歓迎集会」を予定しています。

「日本の教育では『校外で学習する機会』が不可欠」という説明を、教育委員会担当課長さんに丁寧に伝え、2学期途中から校外学習が認められました。

上記以外では、小1「麗都公園」「北京動物園」、小2「四得公園」「ポプラ絵本館」、小4「ごみ処理発電所」、小6「盧溝橋・周口店遺跡」の実施ができませんでした。また、中学部では、33回目となる北京月壇中との国際弁論大会を今年も行うことができました。今後、中2「日本国大使館訪問」や小5「NHKによる特別授業」、小6「JALによる特別授業」も予定しています。

コロナ禍で実施できなかった活動を補い、これまで以上に子供たちにとって有意義な教育活動を創造・創出することができたと思います。

例年とは全く異なる状況が連続する日々にはありますが、本稿上記の通り、学校は職員総力で課題に取り組みました。

そうした中、新しい校外学習実現のため、また新しい特別授業の実現のため、学校運営理事様を始め、多くの北京日本人コミュニティの皆様から、絶大なご支援をいただきました。

学校への直接の寄贈として、パナソニック様からハイスペックのコンピュータを、イトーヨーカドー様から電子楽器オタマトーンを、北京市月壇中学様から防疫物資をいただきました。また、子供たち一人一人にイトーヨーカドー様から日本産米レトルトご飯と梅干しを、人民日報社様からノートと定規を賜りました。

現在学校は、学校運営理事の皆様のご理解をいただき、文部科学省が推し進めようとしている「GIGAスクール構想」に先んじ、子供たちが「1人1台コンピュータ」で学習できるよう、急ピッチで準備を進めています。

今後も「ピンチはチャンス」と捉え、新たな挑戦、新しい教育活動の創造・創出に邁進してまいります。

保護者の皆様、どうかお子様と共に心安らかな年末年始をお過ごしください。心よりお願い申し上げます。今後も本校の教育活動に対し、ご理解ご協力をお願いいたします。

よいお年をお迎えください。

文化体験学習 ～少林拳・太極拳～ 小中連携部

11月28日(土)、小学部が少林拳、中学部が太極拳の文化体験学習を行いました。

小学部の児童は、間近で見る嵩山少林寺武術館の方々のダイナミックで力強い演武に、終止圧倒されている様子でした。演武の後には、八段錦という少林拳を取り入れた体操を全員で体験しました。



中学部の生徒には、張保忠太極武院の方々が、静と動を表現した流麗な演武を披露してくださいました。張保忠太極武院の院長さんが直々に、細やかな体の使い方だけでなく、呼吸の仕方、心の整え方まで丁寧に教えてくれました。

両学部とも、日頃の生活ではあまり触れることのない中国文化について学び、北京日本人学校ならではの体験をすることができた1日となりました。

小学部 1年生入学祝い集会 小学部

12月12日(土)、小学部1年生の入学祝い集会を行いました。

この春できなかった入学式に代わるものとして、保護者の方へ参列いただき、小学部2年生から6年生の歓迎を受けたり、集合写真を撮ったりと、入学をお祝いする会をやっということができました。今年度は運動会や学習発表会といった大勢の前で発表する学校行事を経験することができませんでしたが、この集会を通して学校生活で学んだ成果を披露することもでき、入学して8か月経った子供たちの堂々とした姿を保護者の皆様に見ていただけました。



まだまだ厳しい状況が続く中ですが、そのようなことにもめげたり、屈したりすることなく、真っ直ぐな心で前へ前へと進もうとする子供たち。日々たくさんの方のことを吸収し、成長していく子供たちの活躍をこれからも温かく見守っていききたいと思います。



心をこめてポップアップカードづくり

中学部 1 年生

美術の学習で「ポップアップカードづくり」を行いました。生徒たちは渡す相手と伝えたいメッセージの内容から、様々な工夫を凝らしていました。また、飛び出す仕掛けにとどまらず、色使いなどのデザインにもこだわりをみせていました。中にはカッターナイフでの細かい作業に苦戦している様子も見られましたが、最後まで丁寧に仕上げている姿に感心しました。

生徒たちからは「プレゼントするのが楽しみ！」などという感想が聞かれました。満足そうな表情で、完成した作品を見ている姿が印象的でした。



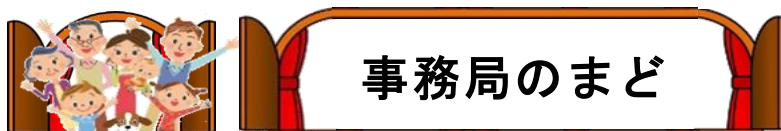
ただいま何人？

小学部 令和2年度12月24日現在

	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1年	8	10	18	4年	11	18	29
2年	18	22	40	5年	8	13	21
3年	15	13	28	6年	13	11	24
				小総計	73	87	160

中学部

	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1年	7	11	18				
2年	12	7	19	中総計	25	24	49
3年	6	6	12	総合計	98	111	209



事務局のまど

皆さん、「GIGAスクール構想」をご存知ですか？日本の文部科学省が推進する「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」のことで。ハードとソフト両面における教育現場のICT化と言ってもよいかと思います。詳しくはまだお話できませんが、北京日本人学校も来年度をめどにこの構想を具体化すべく、現在さまざまな準備を進めています。日本の学校教育の大転換になるのではないかというのが私の感想です。そして教育が変われば社会も変わる。

日本へも帰れず、北京を出ることもなく、の一年が終わろうとしています。何とか生き延びることができたことに感謝。皆様も良いお年を。
(事務局長 倉片)

【2020年度第4回授業料納付期限は1月15日（金）です】

1年分学費 28,800 元を4回に分けてお支払いいただいています。

第4回（最終回）分 7,200 元を下記銀行口座にお振込ください。

銀行名：中国銀行总行

口座番号：778350021712

口座名義：北京日本人学校

※新入学、編入時の初回納付時には授業料請求書を発行しますが、その後個人で授業料を納付される場合、都度ごとの請求書は発行いたしません。今回は1月15日（金）前に振込をお願いします。